

会議録

会議の名称	令和7年度 第3回和泉市教育委員会評価委員会	
開催日時	令和7年6月26日(木) 午前10時00分～午前10時40分	
開催場所	和泉市役所3A・3B会議室	
出席者	<p>教育委員会評価委員 委員長 平良 伸哉 委員 杉田 菜穂</p> <p>教育委員会事務局 参与 並木 敏昭 教育次長兼生涯学習部長 辻 公伸</p> <p>教育・こども部 部長 東 直樹 教育指導監 上田 茂幸 学校教育担当次長兼学校園管理室長 鍛冶 公哉 教育総務課長 奥 信介 教育総務課長補佐兼総務係長 大西 薫 教育総務課総務係主事 西川 世理奈 学校園管理室教育施設担当課長 大内 浩平 学校園管理室保健給食担当課長 濱田 直美 学校教育室長 永井 敬 学校教育室教育推進担当課長 隅埜 哲弥 学校教育室教職員担当課長 岩井 靖久 学校教育室人権教育担当課長 柴田 邦浩 学校教育室児童生徒支援担当課長 仲谷 正太郎 こども未来室長 西角 雅士 こども未来室幼保運営担当課長 北野 剛司 こども未来室幼保育成担当課長 藤木 守 こども未来室幼保育成担当参事 田中 充己</p> <p>生涯学習部 次長兼文化遺産活用課長 森下 徹 生涯学習推進室長 前田 志織 生涯学習推進室生涯学習担当課長 橋本 吉人 生涯学習推進室スポーツ振興担当課長 富岡 大作 生涯学習推進室青少年センター所長 藤原 寛 久保惣記念美術館館長代理 横田 昌幸 久保惣記念美術館総括参事兼副館長 橋詰 文之</p>	
審議内容		
全体 奥課長	<p>第1回評価委員会で委員からいただいた指摘を踏まえ、事業評価の効率化・分かりやすさの観点から、担当が同じ項目のうち、「主な取組内容」や「取組の成果」に掲げる内容が少ない項目について統合するよう、全体を見直した。</p> <p>統合検討の対象とした取組項目のうち、文化遺産活用課所管の取組項目</p>	

	<p>21「文化財の調査研究・保護継承」と取組項目 22「文化財の活用」、および、生涯学習担当所管の取組項目 27「図書館の運営」と取組項目 28「子どもの読書推進」について統合することがより分かりやすい事業評価につながると考えた。</p> <p>その他、統合検討の対象としたものの、統合を見送った取組項目として、取組項目 18「スポーツ施設の運営」と取組項目 19「スポーツ活動の普及」については、それぞれの事業内容が「施設の運営」というハード面と「スポーツ活動の仕組みづくり」というソフト面であり、性質が異なること、取組項目 16「生涯学習環境づくり」と取組項目 17「社会教育環境づくり」については、「社会教育環境づくり」に掲げる内容に少ない傾向があるものの、「生涯学習環境づくり」に掲げる内容に一定ボリュームがあることから、それぞれ別項目とした方が良いと判断し、統合を見送った。</p>
<p><b>取組項目番号 4</b> 隅埜課長</p>	<p>第 2 回委員会で川口委員から指摘があった「市費任期付教育職員の配置」にかかる記載について、事業及び目的をふまえ本取組項目において取組内容や事業評価を追記するとともに、予算額、決算額についても反映した。</p>
<p><b>取組項目番号 18</b> 富岡課長</p>	<p>第 1 回委員会で平良委員長から指摘があった取組の成果の達成目標について、社会体育施設の利用者増加人数から利用者数に変更し、目標値を前年度比 1 万人増と修正した。</p>
<p><b>取組項目番号 22</b> 平良委員長</p>	<p>令和 6 年度の入館者数が目標値を下回ったことの原因の一つとしてアクセスの不便さがあるのではないかと指摘された。</p> <p>アクセスの利便性についても検討いただきたい。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>令和 7 年度の入館者数についてもしっかりと分析を行い、今後の取組みに活かしてほしい。</p>
<p><b>まとめ</b> 平良委員長</p>	<p>第 1 回・第 2 回における委員の意見・指摘についての的確に反映されていることについて評価する。</p> <p>その他、本市における教育の取組みに関し、以下の 2 点について意見する。</p> <p>①和泉市は教育資源に恵まれている。槇尾校区の豊かな自然とのふれあい、テクノステージの企業との協働によるキャリア教育、桃山学院大学留学生との国際交流など、資源を上手く活かすことで和泉市の教育がより魅力的なものとなると考えている。</p>

杉田委員	<p>②和泉市の教育に関する取組みについてより多くの人に伝わるような情報発信についても検討いただきたい。</p> <p>取組項目を統合したものについては、評価の内容がより分かりやすいものとなっている。</p> <p>過去数年に渡り、点検・評価報告書の様式や記載の方法を改善してきたことで短期・長期の課題をしっかりと捉えることができるようになっていることを評価する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
------	---